

～企業には、評論家は必要ない。求められるのは、成果を生むための思考と行動～

管理・監督者のための 実践セミナー

本セミナーのねらいとご案内

1. 管理・監督者としての基本的な責任・役割行動を確認します。
2. 現実に応じた管理行動（業績向上・部下育成・組織力強化）スキルを修得します。
3. プログラム全体を通して、「課題を解決し、目標を達成するマネジメント力の強化」をめざします。
4. 異業種・異職種の方との経験交流を通じて、視野の拡大、多角的視点の獲得、自己啓発につなげます。

平成30年8月23日（木）【1日目】

【第1章 管理・監督者の役割 ～マネジャーのあり方の全体像を把握する】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1.1.経営課題と管理・監督者 | 1.2.管理・監督者の役割 |
| 1.3.管理・監督者の要件 | 1.4.マネジメントサイクル（PDCA） |

【第2章 業績向上のマネジメント ～職場の業績目標を達成するために】

- | | |
|--------------------|--------------|
| 2.1.業績とは何か | 2.2.進捗管理 |
| 2.3.問題発見・解決の視点とツール | 2.4.業務プロセス改善 |

平成30年8月24日（金）【2日目】

【第3章 部下育成のマネジメント ～部下の成長なくして業績向上なし】

- | | | |
|-------------------|----------------------|--------|
| 3.1.部下育成の基本 | 3.2.目標による管理と部下育成 | |
| 3.3.部下育成計画の立て方・方法 | 3.4.OJTの進め方と仕事の割り当て方 | |
| 3.5.管理者のコミュニケーション | 3.6.コーチング | 3.7.傾聴 |

【第4章 組織力強化のマネジメント ～強いチームをつくるために】

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------------|
| 4.1.組織のフレーム | 4.2.チームのマネジメント | |
| 4.3.チームの生産性の管理・強化 | 4.4.職場の風土改善 | 4.5.情報の共有ーナレッジマネジメント |

【総合演習】

【まとめ：自己成長能力の涵養 ～マネジャー自身の成長が職場を活性化する】

「管理監督者のための実践セミナー」申込書

組織名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
会員区分	1. 一般	2. 生産性本部会員	3. その他
派遣ご担当者 お名前		ご所属/ お役職	
備考			
参加者	お名前	ご所属	
	お名前	ご所属	
	お名前	ご所属	

- I. 開催日： 平成30年8月23日（木）～8月24日（金）
23日 10:00～17:00、24日 9:30～16:30
- II. 会場： 群馬県勤労福祉センター 第4会議室（2階）
- III. 講師： 平賀 尚喜 氏（日本生産性本部 講師）
- IV. 対象： 管理者、監督者、労組・職場のリーダー、これら候補者、総務担当者、その他
- V. 受講料： 会員 16,000円 一般 22,000円（2日間の受講料です）

- ◎ 締め切り 平成30年8月16日（木）
- ◎ 振込先 群馬銀行県庁支店（普）0036058 グンマケンセイサンセイホンブ

平賀 尚喜 講師（全日本能率連盟認定マネジメント・インストラクター）

1963年東京都生まれ。1986年（社）社会経済国民会議（現日本生産性本部）入職。2006年より経営者セミナーや階層別公開研修、大手企業を中心とした企業内研修の講師を務める。2017年4月インストラクショナル・デザイナー（社員研修の設計および研修講師）として独立。豊富な知識と経験から「成果の出る講師」「安心できる講師」として毎年千数百名の受講者から好評を得ている。



【講師からのコメント】

管理・監督者には、プレイヤーからマネジャーへの意識・視点の変換と役割の自覚が求められます。

マネジャーとしての3大役割（業績向上・部下育成・組織力強化）を果たすために必要なマネジメントの基本について、単に知識としてアタマで理解するだけではなく、職場実践を意識したグループワーク、ロールプレイング等を通じた「納得」「体得」を本セミナーのゴールと位置づけています。

さらに異業種・異職種との経験交流を通じて視野・視点の拡充を図り、職場で実践的にリーダーシップを発揮できるマネジャーへの成長をバックアップします。